

Investment Commentary

(米国市場に関するコメント)

March 8, 2010

ご参考資料

先週は、特に株式などのリスク資産が力強い動きとなり、米国の株価指標は広範囲に亘って1月上旬以来初めてプラスの領域に入ってきました。ダウ工業30種は2.3%上昇の10,566ドル、S&P500指数は3.1%上昇の1,139ポイント、ナスダック総合株価指数は3.9%上昇の2,326ポイントでそれぞれ引けました。最も上昇率の高かったのは素材セクターの6%であり、全てのセクターがプラスとなりました。

おそらく最も注目される経済指標である2月の雇用統計が金曜日に発表され、非農業部門雇用者数が3万6,000人を下回る減少となりました。米国の一部の地域を襲った寒波の影響により週平均労働時間は減少したものの、厳しい天候を考慮すると、統計数値は全体として大方の予想を上回る内容となっており、労働市場がまもなく改善に向かう可能性を示す幾つかの兆候も見られました。世界に目を向けると、すでに多くの国々で雇用がプラスの伸びを示しています。米国も、もし2月の大雪による混乱がなければ、その仲間入りを果たしていたかもしれません。実際のところ、雇用の伸びを表す4つの先行指標である週平均労働時間や臨時雇用、労働生産性、企業収益の全てが上昇したことを踏まえると、第2四半期には30万人もの雇用を生み出すかもしれないと考えています。

引き続き良好な経済指標を受け、企業収益主導の景気回復が広がってきているように見え、これが設備投資の増加、ひいては雇用の増加に繋がると期待しています。さらに、クレジット市場は総じて金融危機の直後に比べて大幅に改善しており、世界的に短期金利はいまだに低水準にあるので、イールドカーブは依然としてステープ化しており、特に新興国など世界の各地の経済は予想以上に良好な成長を示しています。より楽観的な見方に対する懸念としては、時期尚早の金融引き締めや、まだ終わっていないレバレッジの解消、保護主義などが挙げられます。とは言うものの、ここ数週間において、主要中央銀行が経済の脆弱性やコアインフレの低下を認識しており、それ故、現在のスタンスを維持する可能性が高いことを示す多くの兆候が見られます。

我々の見方では、今回の弱気相場は2009年3月に一旦底打ちしました。それから1年が経過し、もし大きな景気の2番底がなければ、2010年は株式やその他のリスク資産にとってはポジティブな年になると期待しています。市場関係者の中には、今回の景気回復プロセスは、主として政府の介入の恩恵を反映した、いわば人為的なものであり、景気刺激策が撤回されたときには経済は真価を問われる時が来るという見方もあります。景気後退の後、特にそれが厳しいものであった時はなおさら、景気回復の持続性について懐疑的になることがよくありますが、最近の事例では、世界経済は順応し、成長軌道に戻る傾向にあると我々は考えています。何か大きな外部的ショックが起こらない限り、今回の景気回復もそのようになることが期待できるものと考えています。

株式市場に目を転じると、6週間に亘る軟調な展開の後、株式への資金フローは3週間プラスで推移しています。我々の見解では、緩和的な流動性の状況と回復基調にある経済が、持続的な成長に向けた投資スタンスを引き続きサポートしているといえます。これはレバレッジの解消や債務返済によって抑えられるものの、我々は、特に株式などのリスク資産に重点を置くことは理にかなった投資行動の一つではないかと考えています。

BLACKROCK



Bob Doll
ボブ・ドール

ボブ・ドールは、ブラックロックの副会長兼ファンダメンタル株式チーフ・ストラテジストです。ドールは、ブラックロック大型株シリーズ・ファンドのシニア・ポートフォリオマネジャーです。ドールは、2006年にブラックロックとメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズが統合する前は、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズの社長兼最高運用責任者でした。ブラックロック・グループの2009年12月末時点の運用資産残高は3.35兆ドルです。

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。当資料は、ブラックロック Inc. が作成した資料をブラックロック・ジャパン株式会社が翻訳したものです。

S&P500はThe McGraw-Hill Companies, Inc.の登録商標です。

NASDAQはNASDAQ Stock Market, Incの登録商標です。

ウェブサイト www.blackrock.co.jp